

この規約(以下「本規約」といいます)は、認定特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター(以下「当法人」といいます)が提供するアプリケーション「RECOR」(以下「本アプリ」といいます)の利用に関する条件を定めるものであり、本アプリを利用するすべてのお客様(以下「ユーザー」といいます)に適用されます。お客様は、本アプリを利用する前に、本規約をよくお読みください。

第1章 総則

(定義)

第1条 本規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによるものとします。

- (1) 「本アプリ」 当法人がユーザーに提供するアプリケーション「RECOR」のことをいいます。
- (2) 「ユーザー情報」 第5条に規定されたユーザー情報であって、ユーザーが本アプリを利用して入力する年齢区分、性別、所在地域、職業、セルフチェック項目、テキストデータ、その他の情報をいいます。なお、ユーザー情報は、特定の個人の識別することが可能な情報、又は他の情報と照合することにより特定の個人を識別できる情報は含みません。
- (3) 「コンテンツ」 ユーザーが本アプリの利用を通じてアクセスすることができる全ての情報(文章、画像、動画、音声、音楽その他のサウンド、イメージ、ソフトウェア、プログラム、コードその他のデータを含みますが、これらに限られません)をいいます。
- (4) 「ユーザーページ」 本アプリ内で、ユーザーの年齢区分、性別、所在地域、職業等の設定情報が表示される専用ページをいいます。
- (5) 「知的財産権等」 著作権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権(それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利を含みます)又はアイデア、ノウハウ等をいいます。
- (6) 「反社会的勢力等」 暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなったときから5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者をいいます。

(本規約への同意)

第2条 ユーザーは、本規約へ同意した上で、当法人所定の方法により、本アプリのユーザー登録手続きを行います。当該ユーザー登録が完了した時点で、ユーザーと当法人との間で、本規約の諸規定に従った利用契約(以下「本利用契約」といいます)が成立し、ユーザーは、本アプリを利用することができるようになります。

2 ユーザーは、本規約に定める目的の範囲内で、本規約及び当法人の定める方法に従って本アプリを利用することができ、本規約に同意しない限り本アプリを利用してはなりません。

3 当法人は、本規約のほかに必要に応じて、本アプリに掲示するなどの方法で、プライバシーポリシー、追加サービス等に関して別規約を定めることがあります。この場合、別規約に特に断りがない場合は、別規約の内容が本規約の一部となるものとします。なお、本規約の内容と別規約の内容が抵触する場合には、当該別規約が優先するものとします。

4 ユーザーは、第21条及び当法人が別途定めるプライバシーポリシーに従って十分に理解した上、承諾するものとします。

5 ユーザーが未成年者である場合は、本規約について親権者等の法定代理人の同意を得た上で本アプリを利用してください。

(本規約の改定・変更)

第3条 当法人は、当法人の判断において、いつでも本規約の内容を変更又は追加(以下「変更等」といいます)できるものとします。本規約の変更等は、当法人が別途定める場合を除いて、本アプリに掲示した所定の期日より効力を生じるものとします。ただし、当該変更等がユーザーにとって重要な変更等に該当する場合は、当法人は当該変更等の効力発生日の1カ月前までにその内容を本アプリに掲示する方法によりユーザーに予め通知するものとします。

2 ユーザーが本規約の変更等の後も本アプリの利用を継続する場合、当該ユーザーは、本規約の変更等に同意したものとみなされます。ユーザーは、随時、本規約の最新の内容をご確認の上、本アプリをご利用ください。

(通知)

第4条 当法人は、本アプリに関連してユーザーに通知をする場合には、本アプリに掲示する方法又は問い合わせに送信された電子メールアドレス宛てに電子メールを送信する方法など、当法人が適当と判断する方法で実施します。

2 前項に定める方法により行われた通知は、前者の場合には通知内容が本アプリに
掲示された時点で、後者の場合は当法人が電子メール・文書を発信した時点で、そ
れぞれその効力を生じるものとします。

3 本アプリに関する問い合わせその他ユーザーから当法人に対する連絡又は通知
は、当法人の定める方法で行うものとします。

第2章 本アプリの機能と契約の成立

(本アプリの機能)

第5条 本アプリは、ユーザーが自身の感情をオノマトペなどで表現しセルフチェッ
クすることによって客観的に自身のメンタルの状態を把握するものです。ユーザー
が以下の各号に掲げるユーザー情報に関するデータをサーバーに送信する方法で記
録させます。

- (1) ユーザーが本アプリ上で回答するオノマトペによるメンタルの状態並びに精神疾
患などの診断基準にも使用されている尺度 (PHQ-9、GAD-7、AIS-8) を簡略化した質問
のセルフチェックデータ。
- (2) ユーザーが本アプリ上で入力するテキストデータ。
- (3) ユーザーが本アプリ上で回答するワークアウトに関するフィードバックデータ。
- (4) ユーザーの本アプリ利用履歴。

2 本アプリは、自身のメンタルの状態をセルフチェックするものであり、医療サー
ビス、カウンセリングサービス、その他の専門的サービスの提供は含まれていませ
ん。

(ユーザー登録)

第6条 下記の各号のいずれかに該当する場合は、本アプリのユーザー登録ができま
せん。

- (1) 申込者が未成年、成年被後見人、被保佐人又は被補助人のいずれかであり、法定
代理人、後見人、保佐人又は補助人の同意等を得ていない場合。
- (2) 当法人に提供された情報の全部又は一部について、虚偽、誤り又は記載漏れがあ
る場合。
- (3) 本アプリについて、利用停止措置を受けたことがあり、又は現在受けている場合。

(4) 過去に、本規約その他当法人との間で締結した契約上の義務の履行を怠ったことがある場合、その他本規約上の義務の履行を怠るおそれがあると当法人が判断する場合。

(5) 反社会的勢力等であるか、又は資金提供その他を通じて反社会的勢力等の維持、運営若しくは経営に協力若しくは関与する等、反社会的勢力等との何らかの交流若しくは関与を行っているかと当法人が判断する場合。

(6) 既に本アプリのユーザーとなっている場合。

(7) 第三者に利用させる目的でユーザーとなろうとする場合。

(8) その他当法人が適当ではないと判断する場合。

2 ユーザー登録は、ユーザーになろうとする者が自ら、前項のユーザー資格を有することを確認し、本規約を遵守することに同意した上で、当法人の指定する方法で当法人に対して登録を行うことでなされます。

(利用料)

第7条 ユーザーは、本アプリの全てを無料で利用することができます。ただし、本アプリを利用するために必要な環境の整備・維持管理および通信費等の支払は、ユーザーの責任と費用負担で行うものとします。

第3章 本アプリを利用する上での注意事項

(本アプリの利用について)

第8条 本アプリは、第5条で定める機能を提供するものであり、ユーザーは、本アプリの利用に先立ち、以下の各号を確認し、明示的に同意するものとします。

(1) 本アプリは医療サービスを提供するものではなく、本アプリの如何なるコンテンツも疾病の診断、治療、予防のために用いることはできないこと。

(2) ユーザーの健康状態やユーザーによる薬剤の利用や医療機器の利用に関する疑問、懸念、確認等については、ユーザーが自らの責任で医師等に相談すること。

(3) 当法人が本アプリを通じてユーザーに提供する機能は、ユーザー自身が設定又は記録した入力データに基づくものであり、入力データに誤りがある場合は、適切な機能が提供されないものであること。

2 ユーザーは、以下の各号の目的の範囲内で、本アプリを利用することができます。

(1) 第5条に掲げる情報を記録・表示することを通じて、ユーザーが自身のメンタルの状態をセルフチェックするために本アプリを利用すること (ただし、いかなる場合

でも、本アプリによるアドバイスは、ユーザーの疾病の診断、治療、予防を目的とするものではなく、ユーザーの疾病の診断、治療、予防のために当該アドバイスを信頼してはならないことを予め確認の上同意するものとします。

(2) 本アプリは、ユーザーが前号に定める目的の範囲内で私的に利用する目的でのみ利用することができ、販売、配布又は開発等の私的利用以外の目的で利用してはなりません。

3 本アプリは、第5条に掲げる通り、自身のメンタルの状態を把握するものであり、医療サービス、カウンセリングサービスを提供するものではありません。次のような場合は、直ちに専門的な支援機関に問い合わせることを強く推奨します。

(1) 長期間に渡って精神的に不安定な状態が続く等の場合は、精神科・心療内科・メンタルクリニックの受診をすること。

(2) 自殺を考えている、または自殺行為を執行している場合は、本アプリの使用を直ちに中止し、自殺にまつわる相談機関への相談、各都道府県の精神科救急情報センターへ問い合わせること。

4 本アプリは特定のカウンセリングサービスや自殺対策にまつわる相談機関の情報を提供する場合があります。また、当法人が所有権を持たない動画や記事へのリンクを提供する場合があります。それらの情報やコンテンツの正確性、またはそのコンテンツによって引き起こされたいかなる損害についても責任を負いません。

(利用環境の設定等)

第9条 本アプリを利用するために必要な端末及び通信回線の準備、手配、購入及び設定並びに維持・管理は、ユーザーの責任と費用で行うものとします。

(ID)

第10条 本アプリは、初回起動時にユーザーを識別するためIDを生成し、アプリ内に保存します。このIDは本アプリを経由して当法人に送られるデータの管理に用いられます。アプリ内に保存されたIDを確認する機能は有さないため、IDからユーザー本人を特定することはできません。

2 ユーザーは、自己の責任においてIDを管理・保管するものとし、これを第三者に利用させ、又は貸与、譲渡、名義変更、売買等をしてはならないものとします。

3 IDの管理不十分又は第三者の使用等による損害の責任は、ユーザーが負うものとし、当法人は一切の責任を負いません。またデータ解析等、違法な方法で本アプリで利用しているIDを特定され悪用された場合、当法人は一切の責任を負いません。

(入力データのバックアップ)

第11条 ユーザーは、ユーザー情報の全てについて、自己の責任において記録し、保存・管理します。

2 ユーザーは、ユーザー情報について、自己の責任においてバックアップ作業を行うものとし、当法人は、バックアップデータが存在しないこと、又はユーザーがバックアップ作業を適切に実施しなかったこと等により発生したユーザーの損害及び不利益につき、一切の責任を負いません。

3 当法人は、入力データをバックアップとして記録することがあります。但し、前項に定めるユーザーの責任において行うバックアップを補完するものではなく、入力データの復旧を保証するものではありません。

4 ユーザーは、ユーザー情報の一部が一定期間をもって自動的に消去される場合があることを予め了承します。

(禁止行為)

第12条 ユーザーは、本アプリに関連して、以下の各号に定める行為を行うことはできません。

(1) 本規約に違反する行為。

(2) 法令(法律・命令のほか条例・規則等も含む)の定め違反する行為、法令違反を助長する行為又はそれらのおそれのある行為。

(3) 当法人、他のユーザーを含む一切の第三者の財産、名誉、社会的信用、プライバシー、肖像権、パブリシティ権等一切の権利を侵害する行為、又は侵害するおそれがあると当法人が判断する行為。

(4) 当法人、他のユーザーを含む一切の第三者の秘密に属すべき情報を開示、又は開示を要求する行為。

(5) 当法人、他のユーザーを含む一切の第三者の情報を改ざん、消去する行為。

(6) 当法人、他のユーザーを含む一切の第三者を他のウェブサイトに誘導する行為。

(7) 当法人、他のユーザーを含む一切の第三者に不正プログラムを送信する行為、若しくは他のコンピュータ・システム又はネットワークへの不正アクセスを試みる行為。

(8) 当法人に無断で、本アプリ及び本アプリを提供するために当法人が作成するシステム・ソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング及びこれに類する行為。

(9) 本アプリに関連するネットワーク・システムを妨害する行為。

- (10) コンピュータウイルスなどの有害なプログラムを使用し、若しくは送信する行為、又はそのおそれのある行為。
- (11) 本アプリの全部又は一部を使用・転用・転売・複製・送信・翻訳・翻案した当法人の許可していない本アプリの二次利用又は複製行為。
- (12) 本アプリの全部又は一部を商業目的で利用する行為、無限連鎖講及びマルチ商法、それに類する行為又はそれらのおそれのある行為。
- (13) 本アプリの運営又は利用に支障を与える行為。
- (14) わいせつ、児童虐待にあたる画像、文書などを掲載する行為、その他一般の方が不快に感ずるイメージ画像、言葉、その他の表現を掲載する行為。
- (15) 選挙運動又はこれに類似する行為、若しくは公職選挙法に違反する行為。
- (16) 他のユーザー等になりすまして、本アプリを利用する行為。
- (17) 公序良俗、一般常識に反する行為、又はそれを助長する行為又はそれらのおそれのある行為。
- (18) その他、当法人が不適切と判断する行為。

第4章 解約・解除など

(ユーザーによる本アプリの利用契約の解約)

第13条 ユーザーは、いつでも当法人が指定する方法により本アプリの利用契約を解約することができ、これにより、当法人とユーザーとの本利用契約は終了するものとします。

2 前項による解約後、ユーザーが再度本アプリの利用を希望する際は、再度登録手続を行う必要があります。ユーザーは再度の登録手続後、解約前のデータが引き継がれないことを予め承諾するものとします。

(当法人による契約解除等)

第14条 ユーザーが、以下の各号のいずれかに該当するものと当法人が判断した場合、当法人は当該ユーザーのユーザー資格の取消し又は本アプリの利用停止等の措置を事前の通知なく行うことができます。

- (1) 法令(法律・命令のほか条例・規則等も含みます)又は本規約に違反した場合若しくは違反するおそれが高い場合。
- (2) 不正行為を行った場合若しくは行うおそれが高い場合。
- (3) ユーザーが登録した情報が虚偽の情報である場合。

- (4) 第6条第1項のユーザー資格を欠く場合。
- (5) 当法人、他のユーザー又は第三者に対し、善意・悪意、過失・無過失にかかわらず、トラブルを起こした場合。
- (6) 当法人、他のユーザー又は第三者に対し、善意・悪意、過失・無過失にかかわらず、迷惑となる場合。
- (7) 本規約に基づく債務が履行されない場合。
- (8) その他、当法人がユーザーとして不適當であると合理的に判断した場合。
- (9) 前項に基づきユーザー資格が取消しとなった場合、当法人と当該ユーザーとの本利用契約は終了するものとします。

(契約終了時の処理について)

第15条 当法人とユーザーの本利用契約が終了する場合、当法人は、ユーザー情報の全部又は一部を消去できるものとします。また、この場合、当法人はユーザーからのデータ提供の要求には応じないものとします。

2 当法人とユーザーの本利用契約が終了したときに、ユーザーが当法人に対して負っている債務がある場合、ユーザーは、当法人に対して負っている債務の一切について当然に期限の利益を失い、直ちに当法人に対して全ての債務の支払を行わなければならないものとします。

第5章 本アプリの機能停止、変更及び終了

(本アプリの機能停止)

第16条 当法人は、次の各号のいずれかの事由が生じた場合には、事前にユーザーに通知をすることなく、本アプリの機能の一部又は全部を停止することができます。

- (1) システムの保守、システム障害対応、その他技術上の理由により本アプリの機能の提供を中断する必要があると判断した場合。
- (2) 電気通信事業者が電気通信サービスの提供を中止するなど、当法人以外の第三者の行為に起因して、本アプリの機能の提供を行うことが困難になった場合。
- (3) 非常事態（天災、戦争、テロ、暴動、騒乱、官の処分、労働争議等）の発生により、本アプリの機能の提供が困難になった場合、又は困難になる可能性のある場合。
- (4) ユーザーのセキュリティを確保する必要があるが生じた場合。

(5) 法令又はこれらに基づく措置により本機器又は本アプリの機能の提供が不能となった場合。

(6) その他、当法人の責めに帰することができない事由により、当法人が必要やむを得ないと判断した場合。

2 当法人は、前項に基づいて本アプリの機能の提供を停止したことによりユーザー及び第三者に生じた損害及び不利益につき一切の責任を負いません。

(本アプリの変更又は終了)

第17条 当法人は、本アプリの機能の全部又は一部をいつでも変更(バージョンアップを含み、以下同様とします)又は機能の提供を終了できる権利を有します。当該変更又は終了に起因してユーザーその他の第三者に損害が生じた場合であっても、本規約に定めるほか、当法人は一切の責任を負わないものとします。

2 本アプリの機能の全部又は一部を変更又は機能の提供を終了する場合、当法人は、変更又は終了する1ヶ月以上前に本アプリに掲示してユーザーに対して告知し、所定の期日より効力を生じるものとします。ただし、当法人が予期し得ない事由又は法令、天災等のやむを得ない事由で、変更又は終了する場合において1ヶ月以上前の告知が不能な場合は、当法人は事後に速やかにユーザーに対して告知を行います。

3 本アプリの機能の提供の全部又は一部を終了する場合のユーザーに関連する情報及びユーザーが当法人に対して負っている債務がある場合の処理は、第16条第2項の規定に従って行われるものとします。

第6章 一般条項

(非保証)

第18条 当法人は、本アプリ及び本アプリ内のコンテンツ、その他一切の情報につき、ユーザーの特定の目的への適合性、商品的価値、正確性、有用性、完全性、適法性、ユーザーに適用のある団体の内部規則等への適合性を有すること、及びセキュリティ上の欠陥、エラー、バグ又は不具合が存しないこと、並びに第三者の権利を侵害しないことについて、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行わないものではありません。

2 本アプリは、疾病の診断、治療、予防に用いてはなりません。これに反してユーザーが本アプリを疾病の診断、治療、予防に用いた結果ユーザーその他の第三者に

損害、不利益が生じた場合でも、当法人は一切の責任を負わないものとし、ユーザーは、当該利用によって当法人と第三者との間に生じた紛争を自己の責任と費用において解決し、当法人に生じた損害を賠償する責任を負うものとし、

3 本アプリに関し、ユーザーと第三者との間で紛争が生じた場合、ユーザーは、直ちにその旨を当法人に通知するとともに、自己の責任と費用においてこれを解決するものとし、当法人はこれに一切関与せず、何ら責任を負わないものとし、

(本アプリの知的財産権)

第19条 当法人が作成する本アプリ及び本アプリに関連するシステム・ソフトウェアの全部又は一部については、当法人が独占的に知的財産権を有し、日本国内外の著作権法及び著作者の権利・これに隣接する権利に関する諸条約並びにその他の知的財産権に関する法令(以下「関連法令」といいます)によって保護されています。

そのため、ユーザーは、本規約で許諾されている範囲を超えて本アプリ及び本アプリに関連するシステム・ソフトウェアを当法人に無断で複製、改変、頒布、貸与のほか可能なあらゆる形式で利用してはなりません。また、ユーザーは、当法人に無断で当法人が保有する商標(本アプリのマークを含みます)を利用してはなりません。

2 ユーザーは、入力データについて、自らが入力、登録その他の方法により当該入力データを送信又は掲載することについての適法な権利を有していること、及び入力データが第三者の知的財産権、所有権、肖像権、名誉、プライバシーその他の権利を侵害していないことについて、当法人に対し表明し、保証するものとし、

3 ユーザーは、入力データに関する著作権は、当該発信又は掲載を行ったユーザー自身に留保されるものとし、当法人は当該入力データに関する著作権を取得することはありません。

4 ユーザーは、当法人及び当法人から権利を承継し又は許諾された者に対し、入力データに関する著作者人格権を行使しないことに同意するものとし、

(損害賠償)

第20条 当法人の故意又は重大な過失による場合を除き、本規約に基づく本アプリに起因してユーザーにおいて直接的又は間接的に発生する一切の損害(ハードウェア、他のソフトウェアの破損、不具合等を含むものとし、また、通常損害、特別損害、拡大損害、結果損害は問わないものとし、ユーザーの逸失利益、及び第三者からの損害賠償請求に基づくユーザーの損害を含むものとし)について一切責任を負いません。

2 前項の定めにかかわらず、消費者契約法等の法令により、前項の定めが無効となる場合であって、当法人が債務不履行又は不法行為に基づく損害賠償責任を負う場合には、当法人は、ユーザーに現実発生した直接かつ通常の損害(逸失利益を除きます)に限り、これを賠償する責任を負うものとし、特別な事情から生じた損害(損害の発生を予見し又は予見し得た場合を含みます)については、責任を負わないものとします。

3 ユーザーが本規約に違反することにより当法人が直接及び間接に損害を被った場合、ユーザーは、契約が終了したか否かにかかわらず、損害賠償を行う義務があります。

(情報の取得及び管理)

第21条 当法人は、本アプリの機能の提供にあたり、ユーザー情報、外部サービスとの連携により取得する情報及びその他プライバシーポリシーに規定する情報を取得及び利用します。

2 当法人は、本アプリの提供、ユーザーからの問い合わせへの対応、当法人が提供するサービスの案内又は本アプリの機能の維持、改善若しくは向上、医学研究又は公衆の健康増進等のため、前項の情報を利用します。

3 ユーザーは、当法人が前項の利用目的のために必要な範囲で第三者に対して第1項の情報のうち全部又は一部を提供することについて、承諾するものとします。

4 当法人とユーザーの本利用契約が終了した場合も、当法人は、第2項に定める目的の範囲内で、当該ユーザーに関連する情報を利用することができるものとします。

5 前各項に定める他、ユーザーに関する情報は、当法人が別途定めるプライバシーポリシーに従い、適切に取り扱います。

(譲渡、質入れの禁止)

第22条 ユーザーは、本アプリの機能の提供を受ける権利等の本規約上の権利及び地位について、当法人の承諾なく、第三者に譲渡、質入れその他第三者の権利を設定することはできません。ユーザーがこれに違反した場合、ユーザーは、当法人に対し、違約金10万円を支払うものとします。

(反社会的勢力の排除)

第23条 当法人及びユーザーは、それぞれ相手方に対し、自ら又はその代表者、責任者、若しくは実質的に経営権を有する者が、反社会的勢力等に該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。

2 当法人及びユーザーは、それぞれ相手方に対し、次の各号に掲げる行為を行わないことを確約します。

- (1) 暴力的な手法による要求をすること。
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求をすること。
- (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いること。
- (4) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて当法人及びユーザーの信用を毀損し、又は当法人若しくはユーザーの業務を妨害すること。
- (5) 反社会的勢力等である第三者をして前各号の行為を行わせること。
- (6) 反社会的勢力等に対して名目の如何を問わず資金提供を行うこと。
- (7) 第三者が反社会的勢力等と知りながら、当該第三者と取引を行うこと。
- (8) 代表者等が犯罪行為に関連する行為若しくは公序良俗に違反するような行為、あるいは幫助すること。
- (9) その他前各号に準ずる者。

3 当法人及びユーザーは、自らが第1項に該当し、若しくは前項各号に該当する行為を行い、又はその恐れがあることが判明した場合には、直ぐに相手方にその旨を通知しなければならないものとします。

4 当法人及びユーザーは、互いに、相手方による反社会的勢力等との関係の有無に関する調査に協力し相手方から求められた事項については、客観的、合理的なものである限り、これに応じるものとします。

5 当法人及びユーザーは、相手方が前各項に違反した場合には、何らの催告なしに直ちに、本利用契約を解除することができます。

6 当法人及びユーザーは、前項に基づき契約を解除したことにより、相手方に発生した損害について、賠償責任を一切負いません。

(分離可能性)

第24条 本規約のいずれかの条項又はその一部が、消費者契約法その他の法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、当該無効又は執行不能と判断された条項又は部分(以下「無効等部分」といいます)以外の部分は、継続して完全に効力を有するものとします。当法人及びユーザーは、無効等部分を、適法とし、執行力をもたせるために必要な範囲で修正し、無効等部分の趣旨及び法律的・経済的に同等の効果を確保できるように努めるものとします。

2 本規約のいずれかの条項又はその一部が、あるユーザーとの関係で無効又は執行不能と判断された場合であっても、他のユーザーとの関係における有効性等には影響を及ぼさないものとします。

(本アプリに関する事業等の譲渡)

第25条 当法人は、本アプリに関する事業を第三者に譲渡した場合、当該事業譲渡に伴い、本アプリの機能の提供者たる地位、本規約上の地位、本規約に基づく権利及び義務並びにユーザーの登録情報及びその他情報を当該事業譲渡の譲受人に譲渡することができるものとし、ユーザーは、ユーザーたる地位、本規約上の地位、本規約に基づく権利及び義務並びにユーザーの登録情報その他情報の譲渡につき予め同意するものとし、ます。

(準拠法及び合意管轄)

第26条 本規約は日本法を準拠法とし、これと矛盾するいかなる抵触法の適用も排除されるものとし、ます。

2 本規約に起因し又は関連する一切の紛争(民事調停を含む)については、訴額に応じて京都地方裁判所又は京都簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2022年1月20日制定